

私立大学図書館協会東地区部会研究部

2015年度第6回運営委員議事録

日 時：2015年11月13日（金） 13：00～14：30

会 場：学習院大学 中央教育研究棟 2階中会議室

出席者：青木みちる（学習院大学）、秋場理世（白百合女子大学）、新井和之（成城大学）、
金沢美都子（早稲田大学）、齋藤雅彦（専修大学）、佐藤友治（文化学園大学）、
吉田千草（明治大学）、吉田真希子（慶応義塾大学）、米田岳史（学習院大学・オブザーバー）

【事務局】佐々木俊介・糸数ナンシー美香（桜美林大学）

議事概要：

1. 当会議の後に行われる「2015年度第2回運営委員会・研究分科会代表者合同会議について」（資料0）議事次第に基づき案内があった。
2. 夏期研究合宿（集中研究会）実施報告について（資料1-1～6）確認された。
3. 2015年研究会分科会報告大会について、10月23日付けで全加盟館に対して配信しており、昨日時点で約30名の申込者がある。申込締め切りが11月24日となっている。大学図書館支援機構から3名参加されるとの報告があった。
引き続き（資料2-1～2-4）の確認を行った。
（資料2-1）2015年度研究分科会報告大会開催のご案内について
（資料2-2）2015年度研究分科会報告大会発表スケジュールについて
（資料2-3）発表者へのお願い・ご案内について
（資料2-4）2015年度研究分科会報告大会使用機器一覧について
4. 新規研究分科会受付募集の中間報告があり、募集締め切りは12月4日だが、今のところまだ応募者はいないとの報告があった。2016/17年度研究分科会会員募集の中間報告について。
5. 2016/2017年度研究分科会会員募集の中間報告について。現在、代表者に会員募集要項の原稿を依頼中（12/4締切）。会員募集は1月に加盟館にメールで送信予定。
6. 2015年度研究分科会報告大会の運営について（資料3～4）に基づいて確認を行った（資料3-1）役割配置（案）について確認を行った。その内、お昼を食べる場所については会議室を確保しているが、発表者の控え室がなく、会場内であるということが確認された。
（資料4-1）2015年度研究分科会報告大会司会進行手順について確認され、修正したものを再度送るということで了承された。
（資料4-2）2015年度「研究分科会報告大会」オリエンテーション資料について確認された。（資料4-3～4-4）質問表や研究分科会へのご意見・感想等（案）について、

時間により質問等ができなかった場合、受付にて「質問表」を受け取り、後日 FAX やメール等で回答をするということが確認された。飲み物については受付にて各自取ってもらうということで確認した。タイムキーパーの発表終了「10 分前」、「5 分前」、「発表終了」のカードを出すタイミングと、ベルを鳴らすタイミングについて確認された。会場や受付等の役割について調整することになった。お弁当を渡す場所や、食べる場所等についての案内は司会原稿に盛り込むこととなった。

7. 2016 年度東地区部会総会研究講演会の講師と演題について、「地方の大学図書館の活性化」というテーマで検討していたが、部会長校の学習院大学より「委託」を大きなテーマとして①パネルディスカッション「今こそ委託の是非を問う（仮）」、②講演「TSUTAYA 図書館は大学図書館として現実可能か（仮）」の二本立てにしてはどうかとの提案がなされた。

①について、パネラーやコーディネートの調整が必要

②については、地方の方でも興味を持ってもらえそうなテーマであり、集客も見込めるのではないか。

全体のテーマとしては、いくつかの大学の意見が聞けること、推進している大学の抱える問題点の共有ができる点は有用ではないか等の意見があった。

研究講演会の企画については、1 月には候補者に打診し、2～3 月には承諾を得るという手続きを踏んでいるため、この件については、部会長校と研究部担当理事校で検討することで了承された。

8. 研修委託業務（案）について（資料 5）について報告があった。

(1) 地域開催

(2) 管理職研修

(3) オンデマンド研修（これについてはまだ案の段階である）

9. その他

11 月 4 日、5 日と成城大学で研修部の研修会が「大学の国際化と図書館英会話―“成城留学”で役立つ英語を学ぶ―」というテーマで開催され、研究部担当理事校より多くの参加者から好評をいただき成功裡に終了したとの報告があった。

委員より、来年度の予算を立てる関係で、地方での出張が発生するかとの質問があり、部会長校より地方の出張は予定していないとの回答があった。

以上を以て議事、意見交換等を終了した。

以上